



AJRL NETWORK

Association of Japanese Residents in LAO P.D.R.

年頭ご挨拶

日本人会名誉会長 岸野 博之 大使

会員の皆様、新年お目出とうございます。昨年10月末に新大使として着任した岸野です。よろしくお祈りします。

私は、貴日本人会が当国に滞在する邦人同胞の親睦や交流に果たしてきた役割を、評価しています。昨年11月初旬、日本とASEANの友好協力40周年を記念して、第二回Japan Festivalが当地で開催されました。これを成功裏に終えることができたのは、貴日本人会の協力があってのことであり、この場を借りて御礼申し上げます。

私は、11月7日、チュンマリ国家主席に信任状を奉呈し、正式に大使として活動を開始しました。美しい自然、多様性に富む文化、ホスピタリティ溢れる国民、そのラオスに日本国大使として在勤できることを光栄に思っています。諸先輩方やラオス側関係者によってこれまで営々と築き上げられてきた成果の上に立って、更に積み上げを図り、両国関係を強化していきたいと考えています。

日本とラオスの間には、長年に亘る友好関係が培われています。人と人の交流も様々なレベルで活発に行われており、当国を訪問する日本人観光客も増加傾向にあります。昨今特に注目されるのは、日本企業のラオスに対する関心が大きく高まってきていることです。日本企業関係者の当地来訪が相次いでおり、進出企業数もこの一年間で1.5倍に増加し、約100社に至っています。私は、この流れを後押ししたく、官民合同対話等の場を通じて、ビジネス環境の更なる改善に向け取り組んでいく所存です。JICA ラオス事務所や今後開設予定のJETRO ビエンチャン事務所とも協力して行く積もりです。

この様な状況の中で、11月17日、安倍総理が当国を公式訪問されました。トンシン首相と首脳会談を行い、二国間関係を総覧すると共に、地域・国際情勢についても意見交換が行われました。ビエンチャン国際空港ターミナル拡張

計画や貧困削減支援計画に対し、総額95億円の円借款供与の意図表明が行われた他、今後5年間で約1500名のラオス人青年を日本に招聘する交流計画も表明されました。あらゆる分野での関係強化を目指した今回の安倍総理訪問は、両国間の「包括的パートナーシップ」を更に強化する飛躍台になったと思います。12月13～16日には、日ASEAN首脳会議や二国間首脳会談に出席するため、トンシン首相が訪日し、この流れを更に加速化しました。

ところで、2015年は、日本とラオスの外交関係樹立60周年に当たります。これを両国民あげて盛大に祝うことが出来るよう、準備を進めて行きたい、と考えています。草の根レベルの相互理解と交流こそ、包括的パートナーシップの礎です。これには、日本人会の皆様のご支援と協力が是非とも必要ですので、宜しくお願いします。

2014年1月

駐ラオス日本国特命全権大使
岸野 博之



本号内容

(1)名誉会長挨拶、(2)会長挨拶、(3)本年度のイベント、(4)新任理事挨拶、(5)クリスマス会、(6)遠足、(7)チャリティー・バザー、(8)補習校便り、(9)大使館からのお知らせ、(10)企業便り、(11)NGO・国際機関紹介、(12)JICA ボランティア活動紹介、(13)ビエンチャン懇親テニス大会、(14)バドミントン同好会、(15)フットサル&フットボール同好会、(16)武道センター、(17)ゴルフ愛好会、(18)賛助会員、(19)編集部より

年頭ご挨拶

日本人会会長 ラオス日本センター 木下 俊夫

ラオス日本人会会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。2013 年度のラオス日本人会の会長を務めている木下です。2013 年 4 月以降、皆様のご支援を賜り、7 月の会員名簿及び第 35 号の会報誌の発行、9 月のヴィエンチャン郊外の象公園での遠足、11 月のジャパン・フェスティバル開催時のチャリティー・バザー、12 月のクリスマス会のイベントなどを順調に実施することが出来ました。

日本人会の設立の趣旨は、会則にあるとおり、ラオス国に在住する本日本人会会員相互の親睦、福祉の向上、日ラオ親善、並びに子女教育の向上を図るために設立されています。今年の本会の活動は、会員相互の親睦を深めつつ、こちらに在住の子供達に楽しい思い出を沢山作れる機会を提供することに重点を置いてきました。既に、この目的は、皆様の支援の御かげでほぼ達成できたのではないかと考えています。

さて、日本人会の運営に関し、定例理事会の議論の中で課題として浮上してきましたのは、ラオスへの日系企業投資が活発化するに伴い、新規会員の増加等により会員名簿のメンテナンスに相当な時間を要すること、本会を支えている理事がボランティア・ベースであるため理事業務の負担が増加していること、賛助会員にとっての参加のメリットが明確でないこと、日系企業の新たな事業やサービスが増加することに伴う企業宣伝活動をどこまで本会でも取り扱うのか、などの点です。

本日本人会の会員の皆様には、引き続き、本会が開催する各種イベント等に積極的な参加をお願いすると共に、新たな取組みとして、役員主体の各種イベント開催から皆様が主体的に参加しやすくする参加型の運営が可能かどうか議論を重ねています。皆様より、新しい企画の提案や運営の仕方に関する改善点等があれば、各担当理事を通じて積極的に申し入れて欲しいと思います。



本年度のイベント

2013 年度、日本人会では以下のイベントを開催または開催予定です。

4 月 5 日(金)	定期総会
9 月 29 日(日)	遠足
11 月 9 日(土)	チャリティーバザー
12 月 7 日(土)	クリスマス会
1 月 10 日(金)	賀詞交換会(共催)
1 月 25 日(土)	お雑煮会(共催)

新任理事挨拶

個人会員取りまとめ・会報誌 中村敬一

2012 年 6 月にラオスに参り、昨年 2 月にマルハンジャパン銀行ラオスを開業しました。

日本人会では、会員の皆様のラオスでの生活が楽しいものになるよう努めて参ります。どうかよろしくお願ひ致します。



2013年12月7日(土)クリスマス会



このところラオスとは思えない寒い日が続いていますが、朝夕の外気の冷たさに、クリスマスらしさ、お正月らしさを感じている方も多いのではないのでしょうか。

そのような中、恒例のクリスマス会が12月7日に開催されました。今回は約150名の方の参加がありました。

冒頭、木下会長、岸野名誉会長からの開会のご挨拶と乾杯の後、しばし食事と歓談の時間。

お腹も落ち着いたところで、木下会長から日本人会チャリティーバザーの売上報告があり、収益金が日本語補習校鈴木校長へ贈呈されました。



続いて補習校児童生徒によるパフォーマンスです。「よさこいソーラン節」と「AKB48」が元気よく披露されました。



森さんによる名曲演奏を楽しんだ後、いよいよサンタクロースの登場です。2人のサンタさんから子供も大人もプレゼントをもらい、少し早いクリスマスの夜が楽しく更けていきました。



2013年9月29日(日)日本人会遠足@タードソン滝公園



9月29日、日本人会遠足を開催、日本語補習校生徒を中心に約70名が参加し大型バス2台を連ね、ビエンチャン郊外のタードソン滝公園を訪れました。



当日は好天に恵まれ、流しそうめんを楽しんだり、芝生を走り回ったり、象に乗って公園を一周したり、あるいは、お座敷コテージでくつろいだりと、思い思いに楽しんだ後、象たちと一緒に記念撮影をして家路につきました。



2013年11月9日(土)日本人会チャリティー・バザー

恒例の日本人会チャリティー・バザーを、今年は第2回ジャパン・フェスティバル最終日に文化会館前で開催しました。



ジャパン・フェスティバルの屋台村からは少し離れた会場となりましたが、開店前には待ち兼ねた人で長蛇の列ができ、事前に配布した整理券にしたがって順番に買い物を楽しんでいただきました。

最終的に約300人の来場がありました。

収益の半分は12月7日のクリスマス会場で日本語補習校に寄贈されました。残り半分は新年の早い時期にビエンチャン市の教育関係部署に品物の形で寄贈される予定です。



商品を提供いただいた皆様、武道館柔道部員や日本語補習校保護者の皆様を始め当日ご尽力いただいた方々、本当にありがとうございます。



補習校便り

いつもビエンチャン日本語補習授業校に対してお気遣い頂きましてありがとうございます。

現在、補習校は、小学部 21 名(1年生 3 名、2年生 7 名、3年生 2名、4年生 2名、5年生 3名、6年生 4名)、中学部 2 名(1年生 1 名、3年生 1 名)、計 23 名の児童・生徒が在籍しております。

ビエンチャン日本語補習授業校は、他の補習校と違って珍しく、週3回(火・木曜日 15:00～17:00、土曜日 14:00～16:00)、VIS(ビエンチャンインターナショナルスクール)の教室を借り、日本の教科書を用いた、国語と算数(数学)の授業が行われていること、また、ボランティア教員(外部や保護者の方)の協力もあり、1学年1教師の対面型の授業形態を行えるようにしていることが大きな特色だといえます。

教科以外にも、課外授業(5月・スポーツ大会、12月・お茶教室)などの行事を行ったり、日本人会イベント(9月・遠足、11月・ジャパンフェスティバル、12月・クリスマス会)にも参加したりしています。

今回は、とある火曜日の補習校の様子を紹介したいと思います。

14:15～15:00 クリスマス会に向けた出し物の練習

補習校として何か一つの出し物を定着させてみてはどうかという、保護者の意見から、日本的なダンス・元気を与えるようなものということで、「よさこいソーラン節」の練習に、取り組んでいます。火曜日・土曜日の授業の前後に、保護者が中心となって指導を行っています。

15:00～15:15 始めの会

全員が1つのクラスに集まり、始めの会が行われます。点呼が行われた後は、一斉漢字テストが行われます。漢字の読み書きを苦手とする生徒への取り組みとして、2年ほど前から導入しました。平仮名→カタカナ→1年生の漢字・・といった順番で、レベルアップを目指します。音読み・訓読み全ての書き取りの問題があり、かなり難しいです。しかし、継続は力なり！コツコツ続けてきた漢字テストも、早い生徒は4年生の後半までレベルアップしています。

15:15～16:00 1時間目

各学年、5つのクラスに分かれて授業が行われます。

低・中学年の授業の取り組みを見てみましょう。1年生は、自分が知っている日本と外国の昔話の紹介です。どんな昔話を知っているのかな？2年生は、掛け算に入りました。今日は、6の段です。毎日授業始めに九九の暗唱のテストをしながら、頑張っ覚えていきます。3年生は、「3年とうげ」という韓国の民話です。登場人物の気持ちになって、音読を楽しんでいます。4年生は、分数の引き算です。帯分数を仮分数に直しての計算を練習しました。

16:00～16:15 休み時間

各教室から、生徒たちが一斉に外へ飛び出していきます。まずは、スナックで腹ごしらえ。各々持ち寄ったお菓子を交換したり、遊具で遊んだりしてリフレッシュ。みんな、そんなにはしゃいで、次の授業は大丈夫かな？

16:15～17:00 2時間目

クラスに戻り、お腹も満たされ、はしゃぎ過ぎて・・・ではなく、2時間目も集中して授業に取り組みます。

高学年・中学生の授業の取り組みを見てみましょう。5年生は、分数の計算の学習をしています。今日は、時間を分数に表す勉強です。45分は何時間？・・自分の考えをまとめ、発表します。6年生は、今日から「比例」に入りました。難しい用語も出てきていますが、頑張っています。中学1年生は、文法のまとめです。分節どうしの関わりや結びつき方、中学生になると言葉も難しい。

17:00～ 下校

先生、今日の宿題は？持ってくるものを忘れないように、連絡帳に記入して、みんなで挨拶して、さようなら！！

補習校で学んでいる生徒の様子が少しは分かった頂けたでしょうか？いろいろな方々のご協力やご支援のもと、補習校は成り立っております。生徒が楽しんで学習できるように、補習校も創意工夫しながら運営していけたらと思っております。ボランティア教員や、課外授業の講師なども随時募集しておりますので、興味のある方は、ぜひ、補習校へご連絡ください。

ビエンチャン日本語補習授業校 主任 石田 良子

大使館からのお知らせ

1. 在留届の提出

海外での生活中、事件・事故や思わぬ災害に巻き込まれた場合、また、大規模な事故や災害等が発生した場合、大使館では、在留届によって日本人被害者の有無等を確認しています。また、大使館では、「緊急連絡」及び「お知らせ」を在留届に記載されたEメールアドレスにお送りしますので、当国に3ヶ月以上滞在する日本人の方は、大使館に「在留届」を提出するようにして下さい。

また、在留届を提出した方で、帰国、住所変更等があった場合には、大使館まで変更届を提出して下さい。

なお、在留届は、インターネット及び大使館に来館して提出すると出来ます。

* インターネットの場合には、次のURLにアクセスして下さい。

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp>

2. 在外選挙人証の取得

在外選挙投票のためには、在外選挙認証の取得が必要です。次の条件を満たしている方は、在外選挙認証の申請が出来ますので、大使館で手続きを行って下さい。なお、申請から在外選挙認証受領までには2ヶ月程度を要します。

(1) 登録資格

* 日本国籍を有する成人であること。

* 住民票が日本国内にないこと。

* ラオス国内に3ヶ月以上居住していること。

(居住から3ヶ月経過していなくとも、申請の受理は可能です。)

(2) 必要書類

* 在外選挙認証登録申請書(大使館にあります)

* 旅券

* ラオス国内に居住していることを証明する書類

企業便り

PTP 株式会社

PTP 株式会社は 2012 年 6 月、パクセに設立された日系のラオス企業です。当社の使命は、農産物、土地、労働力など南部ラオスが持つ「資源」と日本が持つ「技術と市場」を繋げ、ラオスと日本の Win-Win の関係作りに貢献することです。

南部ラオスのビジネスの動きをご存知でしょうか？パクセからベトナム中部の 100 万都市ダナンまで 8 時間で行ける舗装道路が完成しつつあります。ボラベン高原では、ベトナム人・タイ人・中国人・韓国人がビジネスチャンスありとみて、土地を買い集めています。バンコクに住む日本人向けの日本米や日本野菜の産地として南部ラオスに関心が集まっています。少数民族の伝統工芸品を日本向けにデザインし直し、輸出しようとする企業もあります。話し始めればきりがありませんが、経済特区については言うまでもなく、いま南部ラオス全体でビジネスが急激に動き出しています。



このようにダイナミックに動く南部ラオスを舞台に、日本人にもっとこの地域を知ってもらうため、日本のビジネスをより効果的に展開していただくため、そして地域の産業開発の一助となるため、当社は、日系企業の進出支援事業(ビジネスコンサル・不動産・通訳・レンタカー)、大浴場と和朝食ビュッフェのあるフォレストホテル経営、黒米焼酎など自社商品の製造・販売事業を行っております。

南部ラオスのことは当社にお任せください。オフィスはパクセの BCEL 銀行の向かいフォレストホテルの 4 階です。パクセにいらっしゃる際には、是非ご連絡頂ければ幸いです。

南部ラオスのことは当社にお任せください。オフィスはパクセの BCEL 銀行の向かいフォレストホテルの 4 階です。パクセにいらっしゃる際には、是非ご連絡頂ければ幸いです。

PTP 株式会社 代表取締役
守野 雄揮

NGO・国際機関紹介

歯科医学教育国際支援機構・OISDE(オイスデ)

国際貢献で「歯」?

国際貢献というと途上国で道路や学校を建設するといったイメージを持つ方が多いかもしれません。でも、私達の団体は「歯」です。途上国にいる人達の歯の健康を守ります。

ラオスでの歯の健康被害は深刻です。首都ではクリニックが多数ありますが、地方で開業する歯科医は少なく、地区の病院に歯科医が1人のみという場所もあります。住民はお口の中の健康を守るという意識が無いどころか、歯磨きの習慣が無い家庭も多くあります。いつも驚かされるのですが、歯が4~5本しか残っていない住民が、特に30代以上に多い状況です。歯が無い為に十分な栄養摂取が出来ないため、体の健康にも害を及ぼしています。

地方の住民は各村にあるヘルスセンターと呼ばれる病院の出張所のような所に自分達の健康を依存しています。センターでは数名いる看護師がお産からなにか多岐に渡る医療行為を行っていますが、残念ながら歯の健康についての知識が無いため、歯の痛み等に対して痛み止めを渡す程度しかしていません。私達の団体はこのセンターの看護師に目を付けました。歯科医の育成には時間とお金がかかるので、看護師達に歯の知識を教え、住民の歯の健康を守ってもらおうという発想に到りました。3年間を掛けてビエンチャン県でヘルスセンターの看護師による歯科医療サービスシステムの構築を目指すことにしました。

初年度は同県にある看護学校に歯科医療のカリキュラムを導入し、歯科の知識を持った看護師が永続的に輩出される仕組みを整えました。2年目以降は、卒業した看護師が現場で歯の診断・治療が出来るように技術指導を行っております。同県に存在する数十のセンターに赴き、歯科医がマンツーマンで教えています。まだ改善すべき点はあるものの、センターにて歯科医療が提供されるようになっております。我々は残りの期間をかけて、安心で、そして継続して歯科医療サービスを提供できる仕組みを構築して参ります。

歯科医学教育国際支援機構・OISDE
持田



JICA ボランティア活動紹介

JICA シニア海外ボランティア(SV)平成24年度2次隊 職種:障がい者スポーツ

藤原正教(熊本県立高等学校より現職派遣・外国語教諭)

【活動1】教育スポーツ省障がい者スポーツ推進課で、競技規則をラオス語に翻訳しています。タイ語の競技規則がある競技は同僚らが、ない競技は英語や日本語の競技規則を使い私が翻訳します。専門のバドミントン競技の翻訳は次のような過程で行いました。和・英・仏・羅の辞書を用いた原稿作成が3ヶ月。日本語専攻の大学生に添削を依頼し数週間。その後、競技者や審判の視点から同僚と細部を検討し、約半年を経て完成しました。現在は年内完成を目標にシッティング(座位)バレーボール規則の翻訳が進行中で、帰国までに更に2競技の翻訳完了が目標です。ラオス語はまだ下手ですが大好きな言語なので幸せな活動です。



【活動2】保健省リハビリセンター内の障がい者用体育館での活動です。配属先のラオスパラリンピック委員会の事務所も体育館の一室にあります。現在の活動は下肢障が

い者、聴覚障がい者、センター職員や地域の方々とのバドミントン、視覚障がい者のみなさんとのゴールボールやサッカー、など様々です。競技環境を整え一緒に競技を楽しんでいます。大会や催しの運営も支援します。しかし、平日昼間の体育館稼働率が低く、改善することが目下の課題です。より多くの方々にスポーツの楽しさを感じていただけるよう配属先と一緒に考えています。



【活動3】さらに、日本での専門分野である外国語指導の経験を生かし日本語を教えています。リハビリセンター内の盲学校で、学生さんや先生方に週3回、学生さんや社会人の方々を対象に武道センターで週4回、土曜は自宅で個人授業です。現在、生徒数は30人強、週12時間ほどです。教科書での学習に加え、自作副教材による日本文化や現代大衆文化の学習、体験学習(名刺作りやお菓子試食など)、校外学習(日本食堂で日本人との交流食事会)など、楽しく学ぶ環境作りを心がけています。日本語教師になることは人生目標の一つでしたので、とてもありがたく幸せです。



ビエンチャン懇親テニス大会

～第29回大会(5月)、第30回大会(9月)の結果とご案内等～

去る2013年5月26日、第29回目となる「ビエンチャン懇親テニス大会」が、ビエンチャン市内のドンパラン・コートで開催されました。当日は、朝から雨模様でしたが、参加者の熱い思いが天に通じたのか、開始前には雨が上がり、大会終了までなんとか持ちこたえてくれました。

第29回大会には男性13名、女性3名の老若男女、計16名のご参加を頂きました。8組のペアに分かれ、更に4チームずつがA、Bの2つのグループに分かれて、リーグ戦による予選を行いました。各リーグのうち上位2チームが決勝トーナメントに進み、準決勝、決勝を行いました。

○優勝: 藤田昭雄・野澤誠ペア

○準優勝: 杉山智倫・齋藤功一ペア

また、9月8日には第30回大会が開催されました。この大会では女性5名を含む12名の方が参加され、6ペアの総当たり戦を行い、勝率によって順位を決めました。

○優勝: 中村建・美馬康子ペア

○準優勝: 野田信一郎・杉山智倫ペア

ビエンチャン懇親テニス大会は、日本人会の恒例行事として10年以上前にスタートし、おおむね3～4月に一度のペースで開催されています。

「うまい、下手に関係なく一日楽しくテニスを通して交流すること」を大会開催の趣旨としており、日本人会の会員以外も、日本人以外の方の参加も歓迎しています。大会終了後には毎回、短時間ですが懇親会が催されます。懇親会を行うころには皆さん初対面の人とも話ができるようになっていて、お互いの健闘を称える者有り、テニスのアドバイスを求める者有り、別の趣味の話に興じる者有り、それぞれが楽しく親睦を深めています。

大会開催以外に毎週定例のテニスの練習も行っております。詳細は下記にお問い合わせください。

(連絡係) 藤田昭雄

★写真は第30回の参加者集合写真です。



バドミントン同好会 「バドミントン・モンスターズ」

毎週日曜日、15時～17時まで、アイ・テック近くのスポーツ施設タノンアートでバドミントンをしています。メンバーは経験者が多いですが、初心者の方も大歓迎です。みんな毎週楽しんでプレイしています。ダブルスのゲームがメインですが、活動している時間帯は比較的空いているので、空いているコートで練習したり、遊んだりすることもできます。(混んでいたらごめんなさい。)

まれに私がビエンチャン不在の場合もありますが、メンバーは、ほぼ毎週活動しています。お気軽にご連絡下さい。お待ちしております。

吉岡博士



フットサル&フットボール同好会

こんにちは！

我々ティムサードニーブンパチャムFCは在ラオ日本人で結成されたフットサル&フットボールチームです。

毎週日曜は韓国人との日韓戦、平日夜は外国人チームとのインターナショナルマッチを行っています。部員は最年少が小学5年生、最年長は50代、女性も男性も気軽に参加できるチームです。

今回は 11 月末に行われたタイはバンコクで開催された『F-Asia』と呼ばれる大会での活動を紹介します。

『F-Asia』とはアジア各国でお仕事をされている日本人駐在員によるフットサル大会です。

今大会はアジア 13 地域から計 16 チームの参加があり総勢 160 名の日本人が参加しました。

昼はフットサルで熱くなり、夜はシンハービールで盛り上がる白熱した2日間。ラオス代表として出場した我々は初参加ということもあり各チームから高い注目を浴びましたが、残念ながら優勝を逃してしまいました。

しかしながら他チームはサッカー経験者(中には元Jリーガーも)、しかも 20 代から 30 代前半の若手主体の中で、ラオスは 13 歳～40 歳代まで、それもサッカー初心者も含むという異彩を放ちつつも、16 チーム中 11 位という結果を出しました。

1勝を目標に、6試合を戦いましたが、なんと2勝し、しかも優勝チームとは予選で 0-1 の惜敗。まさに Vientiane Times1 面でもおかしくない活躍でした。

それでもまだまだ練習が足りないということで、今後はよりハードで楽しい練習を積んで精進していきます！

また、翌年度からは F-Asia だけでなく、J-Asia(アジアの日本人駐在員によるサッカー大会)、Ojin-Cup(40 歳以上限定のアジアの日本人駐在員によるサッカー大会)など多くの大会に参戦し、『アジアにラオス有り!』という存在感をアピールしていきたいとも思います。

ラオスでスポーツをやりたい方、ボールに熱くなりたい方、ビアラオをより一層おいしく飲みたい方は岡崎、高田、島野のいずれかにご連絡下さい！

皆様のご参加、お待ちしております！



コンサートなど多くの催しの場として有効に機能していますし、有料で会議室(15名)のご利用もいただけます。

日本人会の皆様、是非機会を見つけて当館にお出下さい。お待ちしております。

ラオス・日本武道センター、事務局次長、
ラオス柔道連盟、顧問
坂東雅邦



武道センター

ラオス・日本武道センターへようこそ

ラオス・日本武道センターは日本の ODA の一環として 2009 年 11 月に開館しました。

ビエンチャン中心部、アヌボンスタジアムの西隣という便利な場所に位置して数百名の各種武道の愛好者が毎日楽しく稽古に励んでいます。

柔道、空手道、合気道、剣道という日本武道を中心にテコンドーやラオバンファイ(ダンス)の団体も道場を利用して、特に週末は子供が溢れるほどの盛況です。勿論利用者の大半はラオス人ですが、日本人を含む外国人居住者や訪問者にも多く利用されています。武道と言うと若い時しかできないと思われがちですがそうではありません。年齢、体力に合わせて楽しむことができるのが武道です。全身運動、特に足腰の鍛錬には最適ですので日本人の皆さんにも是非御来館頂きたいと思えます。

また当武道センターは各種教育・文化活動や企業活動にも利用されています。最大 1200 名の観客収容が可能で日本語スピーチコンテスト始め、学校や企業のイベントや



日本人会ゴルフ愛好会結果報告 (2013年5月～2013年11月 月例会の結果)

8/18 (第225回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	宍戸 浩一(個人)	45	47	92	25	67
準優勝	山崎 泰弘(J-LATS)	44	45	89	18	71
3位	熊崎 隆一(Happy Smile Tour)	37	39	76	4	72
ベストグロス:熊崎 隆一(Happy Smile Tour)76						

9/15 (第226回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	筒井 勝治(ナムニャップ1)	49	49	98	31	67
準優勝	山林 佳弘(ナムニャップ1)	51	49	100	28	72
3位	福島 剛久(大使館)	52	49	101	28	73
ベストグロス:熊崎 隆一(Happy Smile Tour)81						

10/20 (第227回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	中島 秀晃(ジャンピングツアー)	48	50	98	30	68
準優勝	熊崎 隆一(Happy Smile Tour)	37	44	81	3	78
3位	黒木 力男(原田食品)	45	45	90	11	79
ベストグロス:熊崎 隆一(Happy Smile Tour)81						

11/17 (第228回)	氏名(所属)	Out	In	Gross	H/C	Net
優勝	野中 哲(個人)	46	46	92	17	75
準優勝	黒木 力男(原田食品)	42	44	86	10	76
3位	富岡 健一(ナムニャップ1)	44	52	96	20	76
ベストグロス:黒木 力男(原田食品)86						

★ ベストシーズン到来！ 清々しい気候の中、最高のコンディションでゴルフを楽しめる、ゴルファーにとって待ちに待ったシーズン！

楽しく、笑いながらプレーを楽しんだ後のビールも最高！スコアーも最高??

日本人会ゴルフ愛好会では、皆様のご参加をお待ちしております。ぜひ、一緒にプレーして楽しいラオス生活を送りましょう。エントリー方法等がわからない方や質問がある方は下記の連絡先まで気軽にご連絡下さい。

連絡先: 日本人会ゴルフ愛好会

熊崎 隆一

賛助会員

賛助会員は日本人会の趣旨に賛同し運営にご協力いただいている企業です。

ここでは今回掲載を希望された賛助会員のロゴをご紹介します。(50音順)



株式会社 安藤・間



Oji Lao Plantation Forest Co., Ltd.



コマツ ビエンチャン事務所



マルハンジャパン銀行ラオス

編集部より

ラオス国日本人会会報誌「アジャレラネットワーク」では皆様からの投稿をお待ちしております。邦人の集まるクラブ活動やイベント紹介、ラオスでの暮らしに役立つ豆知識や耳より情報、不思議な体験や活動紹介など会員の皆様にも知って頂きたい投稿記事がありましたら是非御一報ください。

会報誌担当 中村敬一
マルハンジャパン銀行ラオス